

教育目標 自主的・自律的精神に溢れた心豊かな生徒の育成

平成29年度 No. 7 平成29年12月22日(金)	富士見中学校だより 希望かがやく (学校だよりのタイトルは校歌の歌詞から名付けました。)	川崎市立 富士見中学校 Tel 242 - 0931
-----------------------------------	---	----------------------------------

「2学期を終えて」

平成29年12月22日
校長 金子 正樹

早いものであっという間に2学期も終業式迎えました。皆さんにとって、2学期はどのような学期でしたか。

9月には、体育祭があり多くの保護者、地域の方に来校いただき、全力で頑張る皆さんの姿を見ていただきました。特に、応援合戦では、各応援団の人たちが夏休み中から練習をし、団員の人たちに伝えながら頑張ってくれました。例年にもまして素晴らしい感動のある体育祭でした。10月には、新人体育大会。上級生の後を継いで各部ともに全力で取り組んでくれました。結果はそれぞれでしたが、試合の望む姿勢やあいさつ選手や応援が一体となった大会だったと感じました。また、下旬には音楽祭。富士見中二会の皆様のご支援によりウェスタ川越の素晴らしいホールでの歌声。皆さんは、練習の成果を思う存分に発揮出来たのではないのでしょうか。その素晴らしい力が周りの人を感動させてくれたのではないのでしょうか。11月の「いもの子バザー」では、2,000人以上の人たちが来校してくれました。今年も、中学生ボランティアとして、参加してくれた人が明るく元気に仕事に取り組んでくれました。そして、関東ブロック中学校社会科授業研究会。緊張の中にも立派な発表や意見を述べて素晴らしい研究会となりました。さらには、卵アート、川越市中学校音楽会、川越市民音楽祭、ラジオ体操フェスタ、現場実習、川越市駅伝競走大会、アンサンブルコンテストなど、たくさんの行事がありましたね。それぞれの行事に多くの人々が参加してくれました。富士見中学校の代表として誇りと自信をもつ

て全力で取り組んでくれました。ありがとうございました。先だっては、生徒会の皆さんが中心となって、先の台風21号で被災された川越市寺尾地区の皆さんのために、義援金を集めてくれました。改めて、感謝いたします。

さて、2学期は終わるわけですが、すでに各学年の次なる取組が始まっています。1年生は、職場体験学習に向けて事業所の選択や学習、2年生は、大きな行事である修学旅行に向けて実行委員会やクラスや班での取組、3年生は、三者面談を経て、進路選択が控えています。楽しい半面、不安もあると思いますが、様々な力を借りて、自らの目標に向かって頑張ってください。しかし、ただ単に「頑張る」といっても、無計画では目標は達成できないと思います。そこには、自分のあるべき姿を想像することが大切です。

ある本にこんなことが書いてありましたので紹介します。

目標達成型の思考と、失敗回避型の思考の違い

困難に負けずに目標を達成するタイプの人を目標達成型とすると、物怖じしたり気弱になって挫折する人は失敗を避けようとするあまりにかえって成功を遠ざけている感があります。

仮にこの二つに単純化して分けて考えると、ベースとなる考え方に明確な違いがあるのだそう



です（実際はこの二つのどちらかではなくて、どちらに近いかという連続の上に私たちは乗るはずです）。

1. 目標達成は自らの責任と考える

目標達成型の人、困難なことがあってもその成否は自分のイニシアチブの取り方、実行の仕方、達成するまでの継続力にあると捉えるのに対して、失敗回避型の人、手持ちのリソースの量や状況に左右されると捉えがち（「難しすぎる！」「時間がないのでできない」）

2. 難しい事柄はチャンスと考える

困難に直面した目標達成型の人、そこに「機会」や「価値」を見出すのに対して、失敗回避型の人、失敗して恥をかく「脅威」を感じてしまう。

3. 困難に伴うストレスを歓迎する

目標達成型の人、困難に対してさらに集中力とコミットメントを強めるのに対して、失敗回避型の人、そのストレスに耐えられなくなる。失敗を回避する人は、そうした努力をいきすぎている、あるいは無理をしていると感じがち。

4. スキルは向上しようと考える

目標達成型の人、タスクを進めながらもスキルを向上させて最終的には達成できると考えるのに対して、失敗回避型の人、スキルは固定していて、いま持っているもので戦わないといけなると考えがち。

5. 継続の力を信じられる

目標達成型の人、「やってみるまではわからない」「とにかくできるまで何千回でも試すんだ」というのに対して、失敗回避型の人、「やめどきが肝心だよ」と考えてしまう。

ほんの少しの勇気を持つ

この項目をみて「こんだ」という人は、もう一度全てをご覧ください。このどこにも「すごい」人

であることや、「才能」が前提となることは実はありません。上の項目を見る限り、目標達成型の人というのは自分の成功をどこまでも信じて愚直な試みをやめない、なんだかちょっと猪突猛進型の人のようにみえてきます。何かを勘違いしているかのように、無駄に思える小さなトライや少しの継続を維持する力が、あるいはこの二つのタイプを分ける考え方の秘密なのかもしれません。ならば、自分が信じられなくなった瞬間や、挫折してやめそうになったときに、この5つのパターンを模倣することで目標達成型の人に近づくこともできそうです。人間は、本気になれば大差ありません。すごい人間になる方法はわからなくとも、ちょっとしたしつこさなら真似することができるかもしれないのです。過去に成功した大きな仕事も、この「しつこさ」が鍵となっていたことが多かった気がします。ほんの少しの勇気が、あるいは結果のすべてを左右しているのかもしれません。

2学期が終わりますが、オッペンバッハ市の学生さんたちの訪問、群馬県前橋市から校長先生たちの視察がありました。「富士見中学校は、生徒が元気、先生が元気。そして、地域が元気な学校ですね」

こんなお話をいただきました。全ては、生徒の皆さんの自主的な取組、保護者の皆さんの応援、地域の皆さんの見守り・支援のお陰様と確信しております。ありがとうございます。来年は、戊午です。

「勤勉で努力」という言葉がありました。年末年始は、それぞれの目当てに向かって元気に過ご

して下さい。3学期には、また元気に会いましょう。

